

平成23年度 学校評価結果

(1/3)

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)						
学校経営	<p>①今年度のメール配信システム保護者加入率は約75%（昨年度約50%）であり、大幅に増加した。</p> <p>②本年度より授業公開日を設定したが、19名の保護者の参加が見られた。</p> <p>③近隣への情報提供については、さらに積極的な取組が必要である。</p>	<p>①メール配信システム加入率のさらなる増加を目指す。</p> <p>②授業公開については、さらに積極的に推進する。</p>						
学習指導	<p>①3年生今年度の合格者数（12月現在）</p> <table border="1" data-bbox="240 1111 794 1202"> <thead> <tr> <th>2級</th> <th>準2級</th> <th>3級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0（1）人</td> <td>11（6）人</td> <td>18（8）人</td> </tr> </tbody> </table> <p>（ ）内は昨年度3年生12月現在の合格者数</p> <p>②3年生3級以上保持率（12月現在） 66人 36.3%（55人 29.9%） （ ）内は昨年度3年生12月現在3級以上保持率</p>	2級	準2級	3級	0（1）人	11（6）人	18（8）人	<p>①昨年度と比較して、目標とする漢字検定3級については、合格者数において増加は見られたものの、飛躍的な伸びと言える状況にはたどり着けなかった。合格できなかった生徒の成績を見てみると、ほんの少し点数が足りず、あと少しで合格という生徒が多数見られた。次年度においては、(1)さらに継続的な学習ができる、(2)生徒自身が興味を持って取り組む、(3)生徒が授業など日常的な場面で漢字の用法を意識する、ということを念頭に置いた指導を行うことで、合格者が増加するような方策を検討したい。</p>
2級	準2級	3級						
0（1）人	11（6）人	18（8）人						

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)															
生徒指導	<p>① 4月6日から12月8日までの遅刻数は全校で1573回（昨年度1505回）となっている。</p> <p>今年度は昨年度から1クラス増であることを踏まえ、遅刻率を比較してみると若干ではあるが減少している。率にすると微々たるものだが、日頃の教員や生徒の努力が見られ、その点は評価できる。また、生活を見直す週間の中に含まれる「遅刻ゼロ徹底期間」はその名前は浸透していなかったが、第1回目は全学年に大きな効果が見られた。しかし第2回目は期待していた効果は見られず、逆に増加してしまった。</p> <p>【昨年度との比較】</p> <table border="1" data-bbox="240 1010 810 1149"> <thead> <tr> <th></th> <th>遅刻数</th> <th>4月在籍</th> <th>1人あた</th> <th>遅刻率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>1505</td> <td>623</td> <td>2.42</td> <td>1.76%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1573</td> <td>663</td> <td>2.37</td> <td>1.74%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遅刻率＝遅刻数／(授業日数×生徒数) ×100</p>		遅刻数	4月在籍	1人あた	遅刻率	H22	1505	623	2.42	1.76%	H23	1573	663	2.37	1.74%	<p>① 将来の進学や就職につながるように、普段の学校生活から時間を守ることを身に付けさせたい。そのためにも、次年度は更に遅刻率が減少するように教員一同が足並みを揃えて指導にあたっていくことが重要であると考えます。また、遅刻数が多くなる6月・11月に生活を見直す週間（遅刻ゼロ徹底期間）を行うようにし、遅刻者の増加を抑えるとともに、それ以降も時間を守るという意識を定着させるようにする。</p>
	遅刻数	4月在籍	1人あた	遅刻率													
H22	1505	623	2.42	1.76%													
H23	1573	663	2.37	1.74%													
健康・安全教育	<p>① 本年度は感染症の流行が見られず、感染した生徒も少なかった。</p> <p>② 健康や安全に対する保護者、生徒、職員の意識は高い。</p> <p>② 次年度、クラス増へ向けての施設面の検査、準備を行った。</p> <p>② 防災訓練を通して、震災に対する生徒、職員の意識を高めることができた。</p> <p>② 学校事故（スポーツ振興センター給付金手続き件数）</p> <table border="1" data-bbox="240 1742 810 1865"> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>：</td> <td>31件</td> <td>861,536円</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>：</td> <td>46件</td> <td>922,465円</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>：</td> <td>38件</td> <td>381,126円</td> </tr> </tbody> </table>	21年度	：	31件	861,536円	22年度	：	46件	922,465円	23年度	：	38件	381,126円	<p>① 今後も様々な感染症に対し、個々の感染症に対応した予防策を徹底する。</p> <p>② 校内施設、設備の老朽化によって、危険箇所が増大していると思われるので、これからも調査を日常的に実施する体制を作る必要がある。</p> <p>② 古くなったカーテンなどの買い換えなど、抜本対策を検討していく必要がある。</p> <p>② 大震災に備えて、飲料水、食糧、毛布などの準備を検討していく。</p>			
21年度	：	31件	861,536円														
22年度	：	46件	922,465円														
23年度	：	38件	381,126円														

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)												
キャリア教育	<p>1 2月までの進路内定状況（在籍者数に対する割合）</p> <table border="1" data-bbox="256 472 794 651"> <thead> <tr> <th></th> <th>昨年度</th> <th>今年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学</td> <td>44.8%</td> <td>50.8%</td> </tr> <tr> <td>就職</td> <td>24.0%</td> <td>22.1%</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td>31.1%</td> <td>27.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>①昨年に比べ、進学を希望する生徒が増え、そのほとんどが合格している。しかし、医療系、保育系ではその限りではない。残念ながら、経済的な理由から就職希望へと変更せざるを得ない生徒が増えた。また、これらの選考試験を乗り切るためには、学習面において基礎力、応用力、を身に付けさせることが一層必要になってくるだろう。</p>		昨年度	今年度	進学	44.8%	50.8%	就職	24.0%	22.1%	未定	31.1%	27.1%	<p>①現行の進路指導体制を維持し、生徒の希望がかなえられるようにしていきたい。進路未決定者を減らすよう、1, 2年生での対策を検討していく必要がある。</p>
	昨年度	今年度												
進学	44.8%	50.8%												
就職	24.0%	22.1%												
未定	31.1%	27.1%												

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	<p>①生徒の授業参加，校則遵守の意識の高さがうまく学校生活に反映されていない。保護者の教育活動への参加意識を高める必要がある。</p> <p>①保護者アンケートについては，どの項目においても，3割ほどネガティブな回答が見られる。保護者とのコミュニケーションが課題である。</p>	<p>①メール配信の回数やホームページの更新回数を増やし，保護者への情報提供をさらに推進していくことが重要である。</p>
学習指導	<p>①家庭学習をもっと積極的に推進すべきである。保護者の協力も必要なので，学校は保護者とコミュニケーションをしっかりとって，三位一体の体制を構築するように心がける必要がある。</p>	<p>①学力向上へ向けて，保護者との協力体制構築を目指すとともに，授業改善，学習環境の整備，漢字検定以外の資格についても積極的に推進するよう努める。</p>
生徒指導	<p>①遅刻指導については，保護者の協力が不可欠である。</p> <p>①生徒指導が厳しすぎるとの指摘もあるが，社会に出てから反動が出ることは考えにくい。卒業生を見る限り，むしろ高校生活の中で厳しく指導されたことが役に立っている。</p> <p>①5年前，10年前からの学校の指導が，現在の本校を作り上げたことが，生徒の様子を見てよく分かる。</p>	<p>①これまでの生徒指導の体制を維持しつつ，本校の生徒指導の方針について，さらに保護者の理解が得られるよう，コミュニケーションをとっていくことが重要である。</p>
健康・安全教育	<p>②熱中症対策・学習環境の整備という観点から，エアコンの設置についても積極的に検討してもよいのではないか。</p>	<p>②PTAとも連携をとりながら，環境整備について検討する。</p> <p>②地域と連携しながら，震災に備えて準備，訓練を行う必要がある。</p>

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
キャリア教育	<p>①進路の情報を十分に得られているという生徒の意識が、昨年度よりも低下している。もう少し具体的に掘り下げて見る必要がある。</p> <p>①将来を考えて、簿記の資格等が取得できるようなシステムが検討する価値があると思われる。</p>	<p>①進路の情報に対する意識の低下は、1，2年生に顕著に見られる。1，2年次でのキャリア教育をさらに充実させるべく検討を要する。</p>